

道路アセットマネジメントプラットフォーム
第7回国内支援委員会

直近のRAMP活動報告について

RAMP活動の概要

活動目標

開発途上国における道路インフラ維持管理の課題解決に向け、国内外の知見を集約し、以下のような取り組みを通じて、開発途上国での道路アセットマネジメントの定着に向けた道路行政人材の育成を目指します。

01

道路橋梁維持管理技術協力プロジェクト

- マニュアル類のローカライズ、制度化支援
- パイロットワークや現地デモによる試行的導入
- PDCAサイクルの定着
→ 現地における産官学連携の基盤を構築

02

道路交通分野の課題別研修

- 先端・高度技術の知見習得
→ 本邦の技術体系(産官学)との交流
- 参加国間での情報共有
→ 相互協力環境の醸成

03

長期留学生の受け入れ

- 基礎～高度技術の習得
- 大学や卒業生のネットワークを構築
→ 卒業後は現地との橋渡し役、長期的には道路AMのリーダーとして活動を期待

04 その他の活動

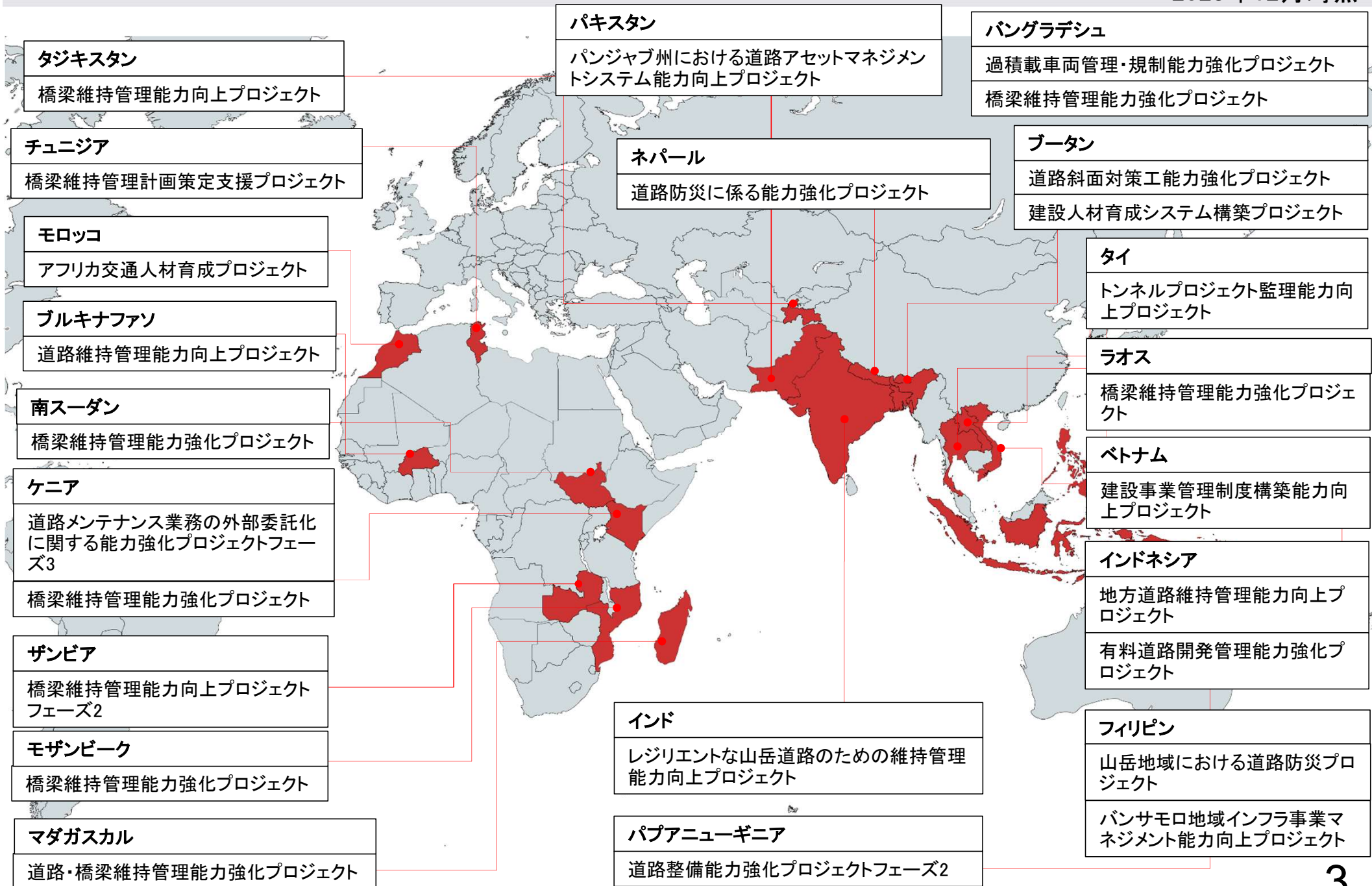
- 民間技術活用
- 大学連携
- 道路橋梁維持管理に関する成熟度評価
- 地方自治体の取組紹介
- 日本人技術者の技術研鑽

- 道路橋梁維持管理技プロの実施件数 (現在進行中の案件：20ヵ国25件)
- 道路橋梁維持管理技プロでの本邦技術の試験的実装支援 (産学官連携)
(12ヵ国19件)
- 課題別研修の実施 (計120名参加 (2023年度)、道路分野で9コース実施)
- 長期研修員の受入れ (17ヵ国から累計71名の行政官・大学教員を受入れ)
- 留学生セミナー、長期研修員特別プログラムの実施 (7回実施)
- 長期研修員インターンシップ (2名受入れ)
- 道路アセットマネジメント成熟度評価 (9か国において調査を実施)
- 特殊橋梁維持管理調査 (7か国13橋の調査を実施)
- 国内外の道路アセットマネジメント動向調査 (25機関調査)
- 国内支援委員会の開催 (6回開催)
- 技術セミナーの開催、本邦企業との意見交換 (15回開催)
- 大学・高専との連携 (岐阜大学、長崎大学、舞鶴高専、他)
- 地方自治体との連携 (玉名市)
- 情報発信活動 (広報資料作成、国内外の出展会・セミナーでの広報)
- 道路財源確保に関するとりまとめ

RAMPにおける技術協力プロジェクト一覧（進行中案件のみ）

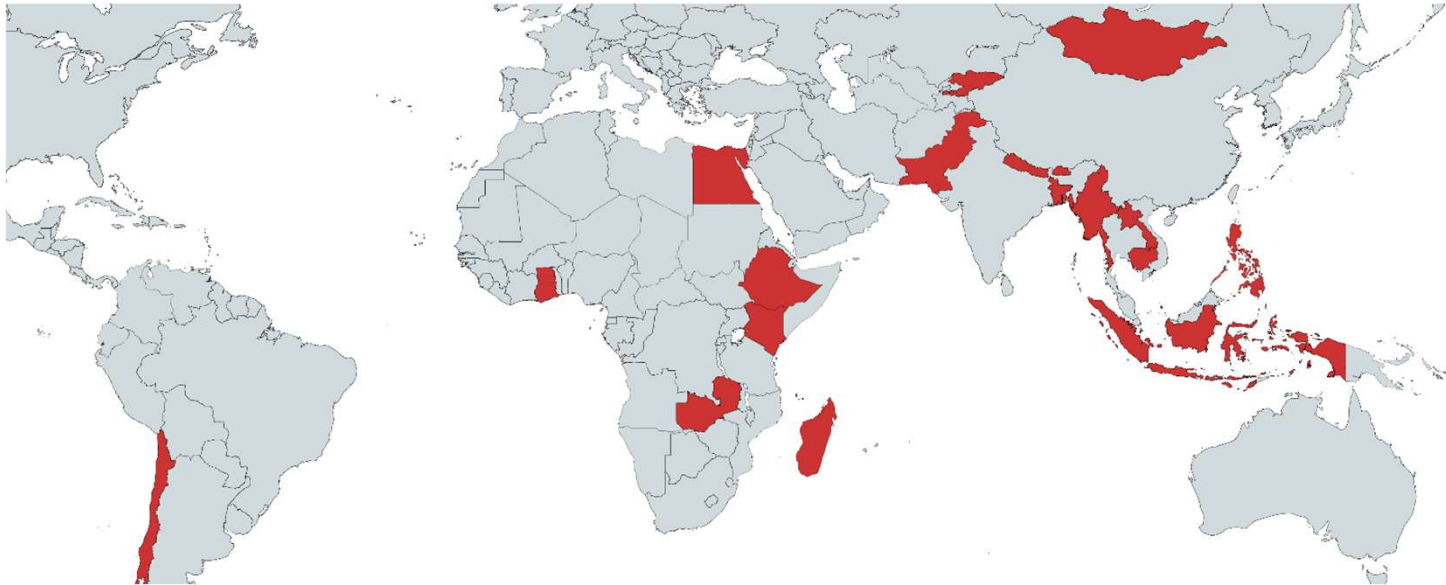
計20カ国25案件実施

2023年12月時点



RAMP長期研修員事業

- 2018年度より受入れを開始。2023年12月時点で**17カ国**、**計71名**の長期研修員を受入れ。(在学中の学生は47名)



＜年度別受入れ人数実績＞

| | |
|--------|-----|
| 2018年度 | 4人 |
| 2019年度 | 4人 |
| 2020年度 | 16人 |
| 2021年度 | 11人 |
| 2022年度 | 14人 |
| 2023年度 | 22人 |
| 計 71人 | |

＜留学生セミナー＞

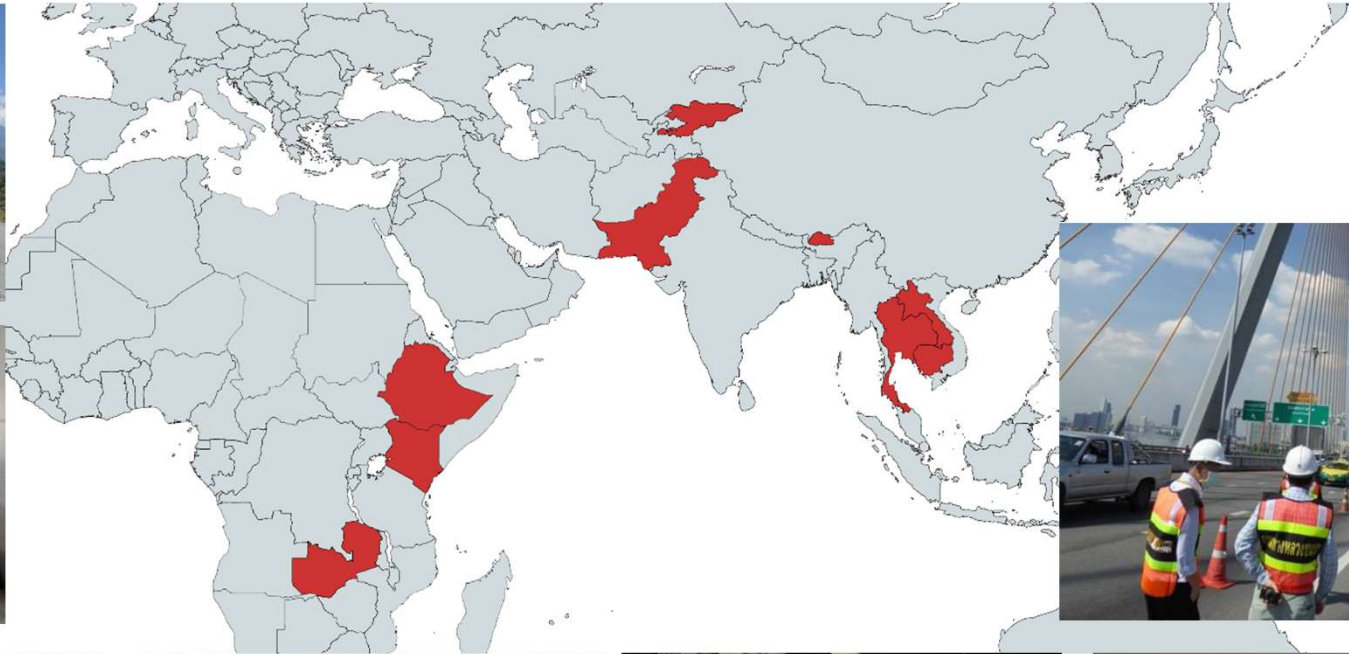
(直近の開催状況)

2023年8月： 在学中の各研修員より研究内容発表(於：芝浦工業大学)、清水建設技術研究所見学



道路アセットマネジメント成熟度評価

- 道路アセットマネジメントの**達成度を確認**し、アセットマネジメント定着に向けた**課題の抽出及び支援計画の策定**を目的としている。
- 2018年から、**9か国において調査**を実施。



特殊橋梁維持管理調査

- JICAで過去支援した特殊橋梁を対象に、**維持管理上の課題について基礎情報**を取集し、**今後の支援の在り方について検討**することを目的としている。
- **2021年から、7か国13橋の調査**を実施。

Thailand

Bhumibol Bridge



Rama IX Bridge



Nonthaburi 1 Road Bridge



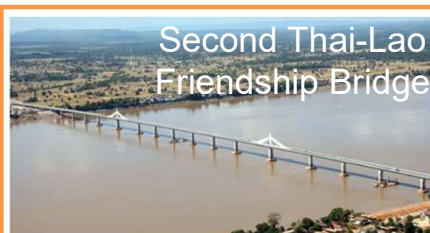
Uganda

The Source of the Nile Bridge



Laos

Second Thai-Lao Friendship Bridge



Sekong Bridge



Cambodia

Tsubasa Bridge



Philippines

Second Mandaue-Mactan Bridge



Second Magsaysay Bridge



Vietnam

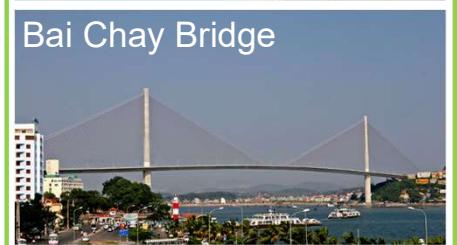
Binh Bridge



Cuu Long (Can Tho) Bridge



Bai Chay Bridge



Palou

Japan-Palou Friendship Bridge



第15回技術セミナーの開催

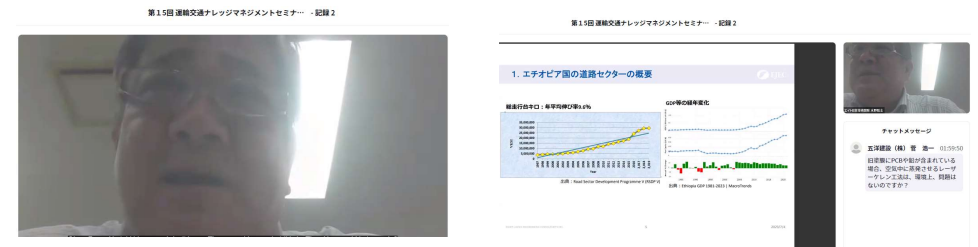
- 2023年7月、第15回技術セミナーをオンラインで開催。
- **本邦企業3社から最先端技術の紹介、JICA専門家1名から活動報告を実施。**
- **当日は、約90名の本邦企業関係者が参加。**

(技術セミナー概要)

- 技術プロジェクトでの試行的な本邦技術実装およびビジネス展開の機会創出を目的として開催。
- 半年に1回程度開催し、土木学会認定CPDプログラム。



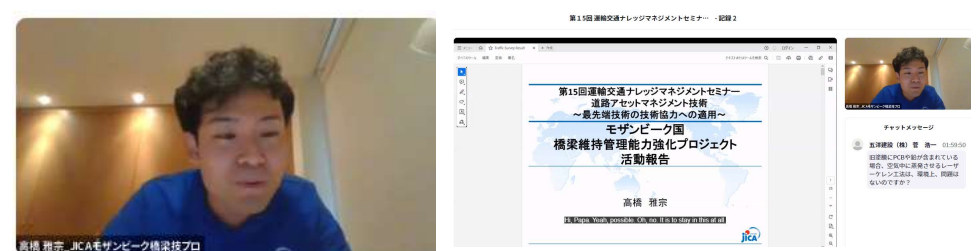
SESSION 1「落石（災害）予防・防止の基本教育から得られた効果」
東京製綱インターナショナル株式会社



SESSION 3「エチオピア国における道路アセットマネジメントの現状」
株式会社エイト日本技術開発 国際支社



SESSION 2「レーザーケレン工法について」
フルサト工業 株式会社



SESSION 4「橋梁維持管理能力強化プロジェクト」活動報告
JICAモザンビーク専門家

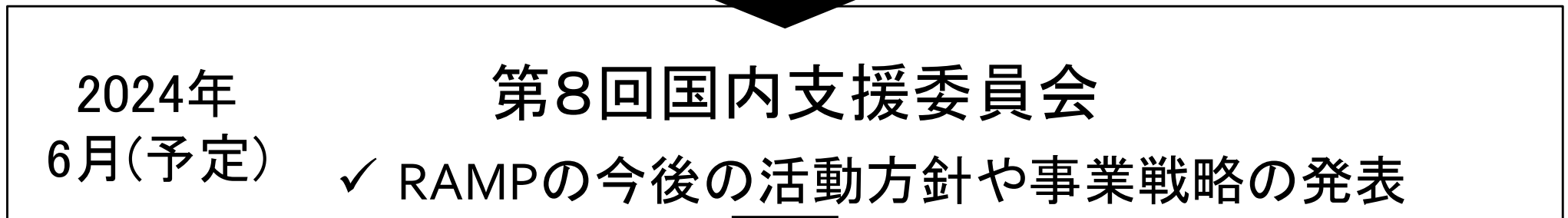
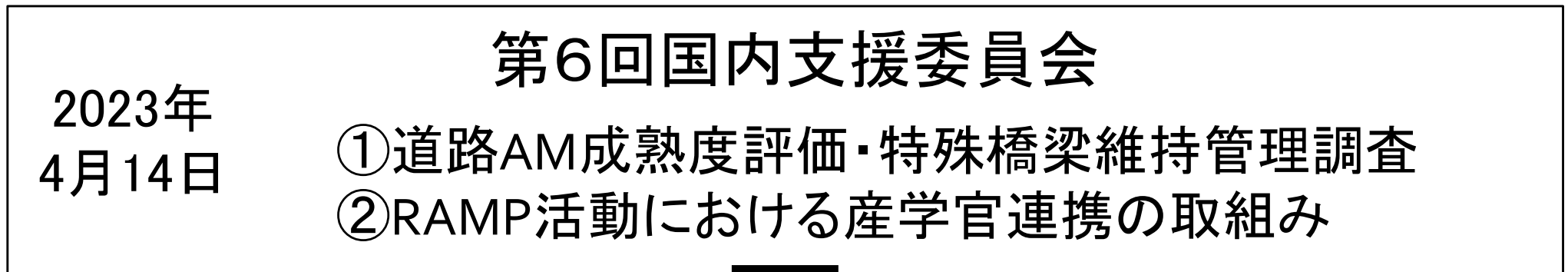
(広報活動) 世界道路会議への出席

- 2023年10月、第27回世界道路会議(チェコ・プラハ開催)に出席し、JICA/RAMP活動に係るパネル紹介や動画放映、プレゼンテーション等を実施。

(世界道路会議概要)

- 世界道路協会(PIARC)が4年に1度開催する世界大会。世界中から3千名を超える道路行政関係者、土木技術者、専門家等が一堂に会し、最新の経験や技術に関する報告及び討議を実施する。
- 第27回は、2023年10月2日～6日にプラハで開催され、日本からは、国土交通省をはじめ、計25の団体が参加。





2024年
6月(予定)～ 更なるRAMP活動の展開・深化